

第4回蒲郡市地域公共交通連携検討委員会 議事録

- 1 日時 令和2年6月2日(火) 午後2時～3時
- 2 場所 蒲郡市役所 本館3階 303会議室
- 3 出席者
- | | | | |
|-----|-----------------|----|---------|
| 委員 | 名鉄バス株式会社 | 吉岡 | 実 |
| 委員 | 豊鉄タクシー株式会社 | 西山 | 恭昭 |
| 委員 | 株式会社かね一自動車 | 寺澤 | 忠宣 |
| 委員 | 総代連合会 | 石川 | 良一 |
| 委員 | 蒲郡市身体障害者福祉協会 | 金沢 | 孝一 |
| 委員 | 蒲郡市老人クラブ連合会 | 宮本 | 勝英 |
| 委員 | 蒲郡市社会福祉協議会 | 岡田 | 隆二 (欠席) |
| 委員 | 蒲郡市小中学校PTA連絡協議会 | 吉見 | 尚之 |
| 委員 | 蒲郡商工会議所 | 井澤 | 康彦 (欠席) |
| 委員 | 蒲郡市観光協会 | 鹿野 | 公朗 |
| 委員 | 形原地区公共交通協議会 | 吉見 | 和也 |
| 委員 | 東部地区公共交通協議会 | 大場 | 和生 |
| 委員 | 西部地区公共交通協議会 | 杉浦 | 吉昭 |
| 委員 | 三谷地区公共交通協議会 | 藤城 | 直司 |
| 委員 | 大塚地区公共交通協議会 | 山口 | 俊明 |
| 委員 | 蒲郡市企画政策課長 | 牧原 | 英治 |
| 委員 | 蒲郡市観光商工課長 | 小田 | 芳弘 (欠席) |
| 委員 | 蒲郡市都市計画課長 | 鷹巢 | 央佳 |
| 委員 | 蒲郡市長寿課長 | 柴田 | 好範 |
| 委員 | 蒲郡市福祉課長 | 永田 | 隆裕 |
| 委員 | 蒲郡市土木港湾課長 | 永島 | 勝彦 |
| 事務局 | 蒲郡市交通防犯課長 | 池田 | 高啓 |
| | 蒲郡市交通防犯課係長 | 齋藤 | 裕記 |
| | 蒲郡市交通防犯課主事 | 石川 | 雄策 |
| | 蒲郡市交通防犯課主事 | 井本 | 博子 |

4 議題

- (1) あいさつ
- (2) 蒲郡市地域公共交通連携検討委員会について
- (3) 委員自己紹介及び役員の選出

5 協議事項

- (1) 公共交通の現状分析・課題抽出・対応方針について
- (2) 住民アンケート(案)について

(3) 支線バスの拡大範囲と評価制度の見直しについて

6 その他

(1) 路線バスの改編について

(2) 利用促進（公共交通マップ作成）について

7 議事内容

(1) 開会

- ・ 出席委員が18名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通連携検討委員会設置要領第6条2項の規定により会議が成立することが事務局より報告された。
- ・ 新型コロナウイルス感染予防のため、マスク着用を依頼した上で、換気のために扉を開けての開催とさせていただく。ご協力お願いいたします。

(2) 議題

ア あいさつ

- ・ 交通防犯課長より、新型コロナウイルス感染症対策で忙しい中で、第4回蒲郡市地域公共交通連携検討委員会に参加いただきありがとうございます。交通行政は、市の最上位計画として総合計画がある。その方針に基づき、交通計画としては、最初に地域公共交通総合連携計画を作成し、平成28年に現在の地域公共交通網形成計画を策定し、事業を推進している。本年度、当該計画の計画期間が最終年度となり、新しい計画を策定する必要性から、本委員会を開催した。

これまで交通空白地の解消として形原地区であじさいくるりんバスの運行を開始して以降、昨年度は東部地区と西部地区で運行を開始し、現在は、三谷地区と大塚地区で新たな運行に向けて協議している。一方、名古屋鉄道については、西尾市と名古屋鉄道と協議し、令和3年度から令和7年度まで運行の継続の確認書を締結できた。

公共交通について、一堂に会して協議できるよい機会ですので、それぞれの立場からの積極的なご意見をお願いしたいとの挨拶があった。

イ 蒲郡市地域公共交通連携検討委員会について

- ・ 事務局より、蒲郡市地域公共交通連携検討委員会開催の主旨および進め方について、説明が行われた。

〔質疑〕

なし

ウ 自己紹介及び役員を選出

- ・ 蒲郡市地域公共交通連携検討委員会設置要領第5条2項により会長、副会長が選定された。
- ・ 議長より本日の議事録署名人として2名の委員が指名された。

(3) 協議事項

ア 公共交通の現状分析・課題抽出・対応方針について

- ・ 事務局より、資料 1-1、1-2に基づいて説明が行われ、結果について蒲郡市地域公共交通会議に報告することとなった。

〔質 疑〕

なし

イ 住民アンケート（案）について

- ・ 事務局より、資料 2に基づいて報告と住民アンケートについて委員の皆様アンケートにご回答いただいて、気になる点等あれば6月中に事務局まで連絡してもらい、事務局にて調整し、実施する旨の説明が行われた。

〔質 疑〕

（委 員）

- ・ いつ頃実施予定か。

（事務局）

- ・ 夏に実施予定。7月中を考えている。6月中に意見をいただき、6月19日に開催予定の地域公共交通会議でも確認して実施する。

ウ 支線バスの拡大範囲と評価制度の見直しについて

- ・ 事務局より、資料 3に基づいて説明が行われ、結果について蒲郡市地域公共交通会議に報告することとなった。

〔質 疑〕

（委 員）

- ・ 目標値の数字を下げることは賛同する。今年度はコロナの影響で大きく利用が減っている。異常事態なので、この点についても評価する時は考えていただきたい。

（事務局）

- ・ 現状として、コロナの影響で、コミュニティバスの利用について、3月の1便当たりの利用者数は、あじさいくるりんバスは昨年度平均の5.8人から3.6人に減った。東部地区は半年平均2.4人だが1.5人。西部地区は、運行して間もないが3か月平均の1.0人から0.7人に減少。3月は大きく減少し、4月からも同様だと思う。

- ・ このバス事業は、高齢者の移動支援として、通院・買物などの利用を想定しており、生活の足として必要なもの。止まることなく安定して運行できるように維持していきたい。

（委 員）

- ・ 評価基準については、コロナの影響を配慮して対応いただくことを要望として、考えておいていただきたい。

(4) その他

ア 路線バスの改編について

- ・ 事務局より資料 4に基づいて説明が行われた。

(委員)

- ・ 弊社が運行している、西浦病院循環線、丸山循環について、4月にダイヤ改正を行った。市の補助路線で、支援を受けて運行している。これまで利用状況が芳しくない時間帯は、経費削減をして、維持継続してきた。ダイヤ改正は、一部の時間帯の合理化による対応。利用実績を確認して、利用者に不便のない形に変更した。

4月に改正したが、コロナの影響で、4月27日からは休日特別ダイヤで運行している。一定の期間後、できるだけ通常運行に戻していきたい。緊急事態の中、最大で前年の35%まで利用が落ち込んだ。宣言解除後は、回復傾向がありますが、先週1週間の利用状況は、名鉄バス路線全体で前年の51%の水準。蒲郡の路線でも約50%。

6月以降は、宣言も解除され、通常の状態に戻る兆しがあるので、今後も、ダイヤ調整しながら通常の状態に戻していけるようにしていきたい。名鉄バス全線も同様。厳しい中ではあるが、皆様のご利用を賜り、維持を進めていきたい。

- ・ ICカードについて、新しいフリーパスを作成した。これまで「とくとくパス」を提供してきたが、わかりづらい制度だった。新しいゴールドパス・シルバーパスは、65歳以上と70歳以上に分けて金額設定しており、期間中県内の一般路線が乗り放題となる。昼間帯の利用、高齢者のおでかけ支援として利用いただきたい。

イ 利用促進（公共交通マップ作成）について

- ・ 事務局より利用促進（公共交通マップ作成）について、路線図や、利用方法などの情報を掲載したマップを作成する予定との説明が行われた。

(事務局)

- ・ 次回は10月頃開催させていただく。開催の際には事前に通知する。また今回の会議内容について6月19日開催の蒲郡市地域公共交通会議に報告させていただくことを連絡し会議は終了した。